

第3回リング会議後の経過及び 今後の予定について

第3回リング会議後の経過について

年度	平成30年度											
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
工程	基本設計											
区	基本設計方針案策定		基本設計方針策定		「基本設計案中間報告」及び「世田谷区民会館整備方針策定へ向けた区の方考え方」策定				区民会館整備方針策定		基本設計案策定	
世田谷リング会議 (基本設計中4回程度)	第1回 5/13				第2回 7/28				第3回 11/3		第4回 12/22	
区民説明会			基本設計方針案説明 (全体1回) 6/3				基本設計案中間報告 (5地域各1回) 9/22~24					

第2回 区民交流ワークショップ 概要

開催日時

平成30年11月10日（土）13:00～17:00

開催場所

世田谷区役所第3庁舎3階ブライトホール

内 容

1. 講演

「参加・交流・協働の場所づくりのいくつかのヒント」
土井 良浩氏（弘前大学大学院地域社会研究科准教授）

2. 他自治体事例紹介

3. 本庁舎等整備 基本設計（案）中間報告 説明

4. ワークショップ

「様々な区民等が集い、市民活動にふれられ、
交流が生まれるスペースにするためには」

土井 良浩 准教授による基調講演

現在の世田谷区内の市民活動のための施設・場所

- 市民活動団体、地域団体が利用できる会議室やホール空間は各地域に点在している。
- フリースペース的場所（何となく訪れて、滞留することのできるような場所）は少ない。
- 中間支援組織も貸し出し用の「会議スペース」か小さな「フリースペース」しかもたない。



**今回のフリースペース中心の市民活動のための
協働・交流の「常設的空間」は世田谷区初**

ワークショップでの主な意見

- 市民活動の発表の場にふさわしいデザインや、ここで会議するのがカッコいいとか、ここでイベントしたのを写真で撮りたくなるようなデザインは大事。例えば、大胆であるが建物全体に少し丸みを帯びたデザインにしたり、床材に温かみのある木材を使うなど。
- 色々なものを生み出すための機能や設備として、印刷室や、展示できるボックスギャラリーが必要。
- 可動式の4.5畳を交流スペースの好きな場所に設置して、市民活動ができるスペースを貸し出す。4.5畳では、会議をしたり、活動のPRをしたりなどの市民活動を行う。
- 区民交流スペースに来れば何かしらの情報が得られるということが必要であり、色々な情報をアドバイスできる人、コンシェルジュ的な人を配置する。
- 特定のグループがスペースを独占しないような空間づくり、運営も必要。

ワークショップでの主な意見

- キーワードは「おしゃれ」「気軽に」「ゆったりと」。できれば夜も使えるようにしたい。
- 人が集まるには、おいしいコーヒーやスイーツが食べられるなど、そこに来たくくなるようなしかけが必要。
- そこに来たくくなるような本当のおいしさがある場所をつくり、キッチンカー（外にも中にも移動できる可動式）を常時もしくは期間限定等で配置するなど、世田谷を代表するお店やジャンル毎の代表するお店などの出張店舗であったり、世田谷区内のアンテナショップをつくる。
- 区庁舎なのにこんなことができるというようなしかけが必要である。



ワークショップでの主な意見

- 若いアーティストの表現の場として、普通にポスターをつくるとつまらなくなるようなところや展示の工夫などをアーティストの力を借りて、見たくなるような展示も協働の場としてつくれるといい。
- 市民活動を一覧できるような掲示板、大きなデジタルサイネージみたいなもので動的に表現されているものが必要。
- エフエム世田谷のサテライトができるなら、PR面でコラボしたい。



プラットフォームを機能しやすくする 場所づくりのためのヒント（土井准教授の提案）

（1）アクセシビリティを高めること

- ①外から「見える」こと
- ②いつでも誰でも利用できるフリースペース
- ③バリアフリー&ユニバーサルデザイン
- ④常時アクセスできる窓口
- ⑤情報展示コーナー、チラシラック

（2）多目的に対応したスペースや設備

- ①プログラムに応じて使い分けができること
- ②活動・作業をさらに発展させる設備
- ③利用者が多様な関わり方ができること

プラットフォームを機能しやすくする 場所づくりのためのヒント（土井准教授の提案）

（3）対話・協議が弾む雰囲気演出

- ①アットホームな雰囲気づくり
- ②素材やディテールへのこだわり
- ③フューチャーセンターという専門空間

（4）利用者のコミュニケーションを意識したレイアウト

- ①対話を生み出す動線づくり
- ②プログラムに即した会場のルームアレンジ
- ③ちょっと立ち話のできる空間

第3回リング会議後の経過について

年度	平成30年度											
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
工程												
区	基本設計方針案策定		基本設計方針策定		「基本設計案中間報告」及び「世田谷区民会館整備方針策定へ向けた区の方考え方」策定			区民会館整備方針策定		基本設計案策定		
世田谷リング会議 (基本設計中4回程度)	第1回 5/13				第2回 7/28			第3回 11/3		第4回 12/22		
区民説明会			基本設計方針案説明 (全体1回) 6/3					基本設計案中間報告 (5地域各1回) 9/22~24				

区民会館整備方針の策定

基本の方針

○世田谷区民会館 整備の基本的な考え方

- ・ 文化・芸術の魅力を発信し、区民自治と協働・交流の拠点となるよう、講演会や式典等のほか、音楽や演劇等のイベントなど、多様な区民活動や公演に対応できるホール（多目的ホール）として整備します。
- ・ 大規模災害が発生した際には、世田谷地域の物資等の集積場所などとしても対応可能な施設として整備します。

区民会館整備方針の策定

構造計画

○耐震性の確保

構造体 I 類相当の耐震性を確保



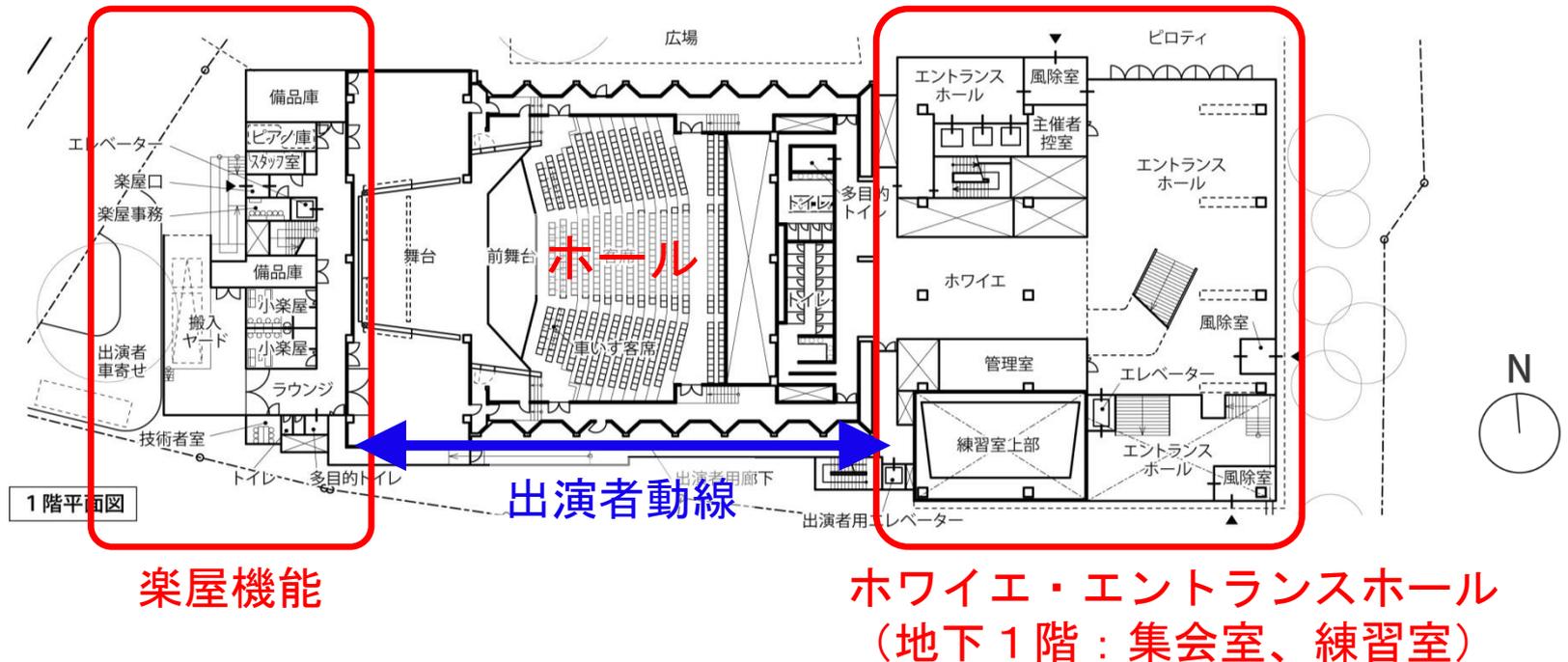
区民会館ホール部分	⇒	保存（耐震改修）
楽屋部分	⇒	改築

区民会館整備方針の策定

平面計画

○ホールを中心とした施設

現位置に整備するホールを中心に、西側には楽屋機能を、東側にはホワイエ、エントランスホールを設け、集会室や練習室等の区民活動諸室との連続した空間とし、南側には楽屋と練習室をつなぐ出演者用動線を配置し、各機能を明快にゾーニングします。



区民会館整備方針の策定

区民会館機能の向上

舞台計画

客席

音響計画

トイレ

楽屋

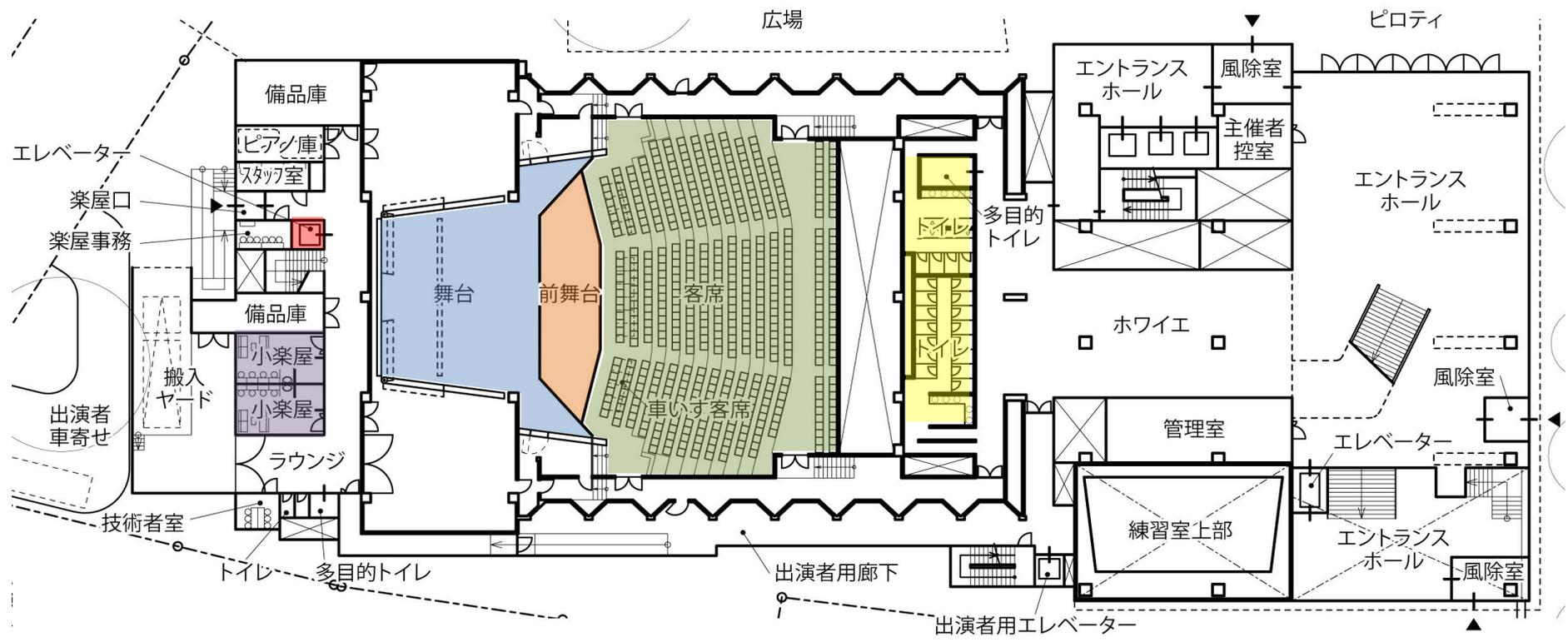
集会室・練習室

など

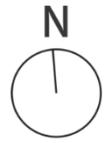


これらの機能を向上させます

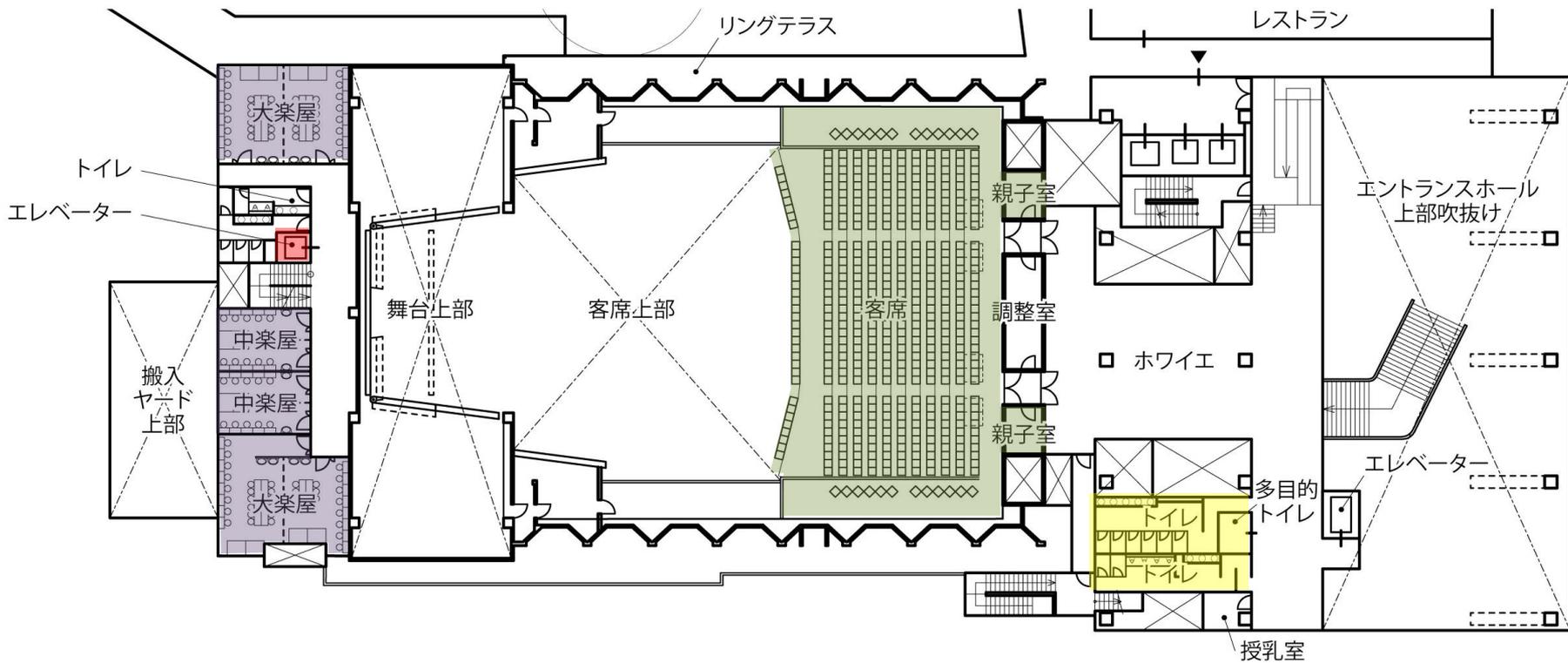
区民会館整備方針の策定



1階平面図



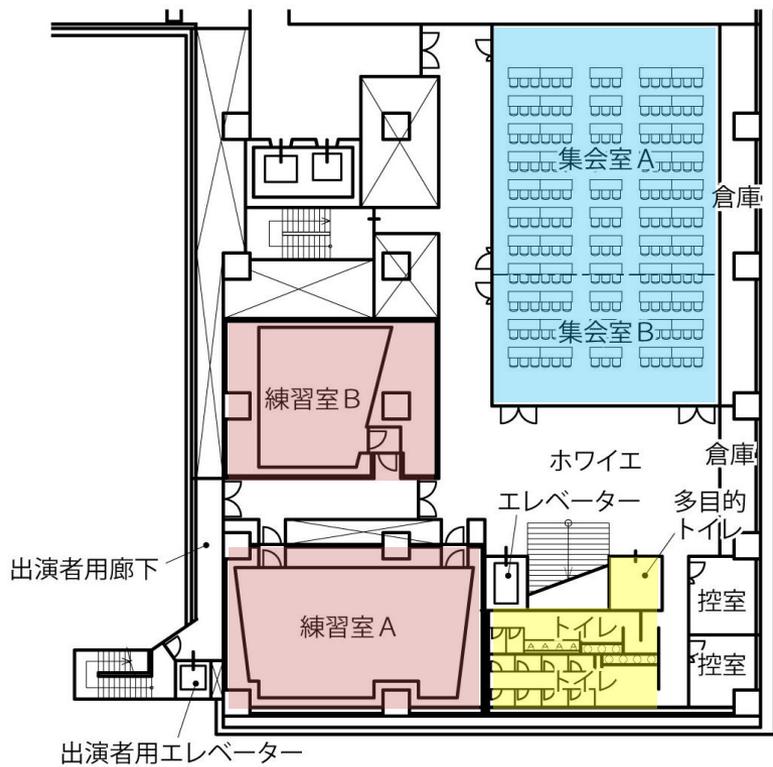
区民会館整備方針の策定



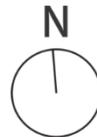
2階平面図



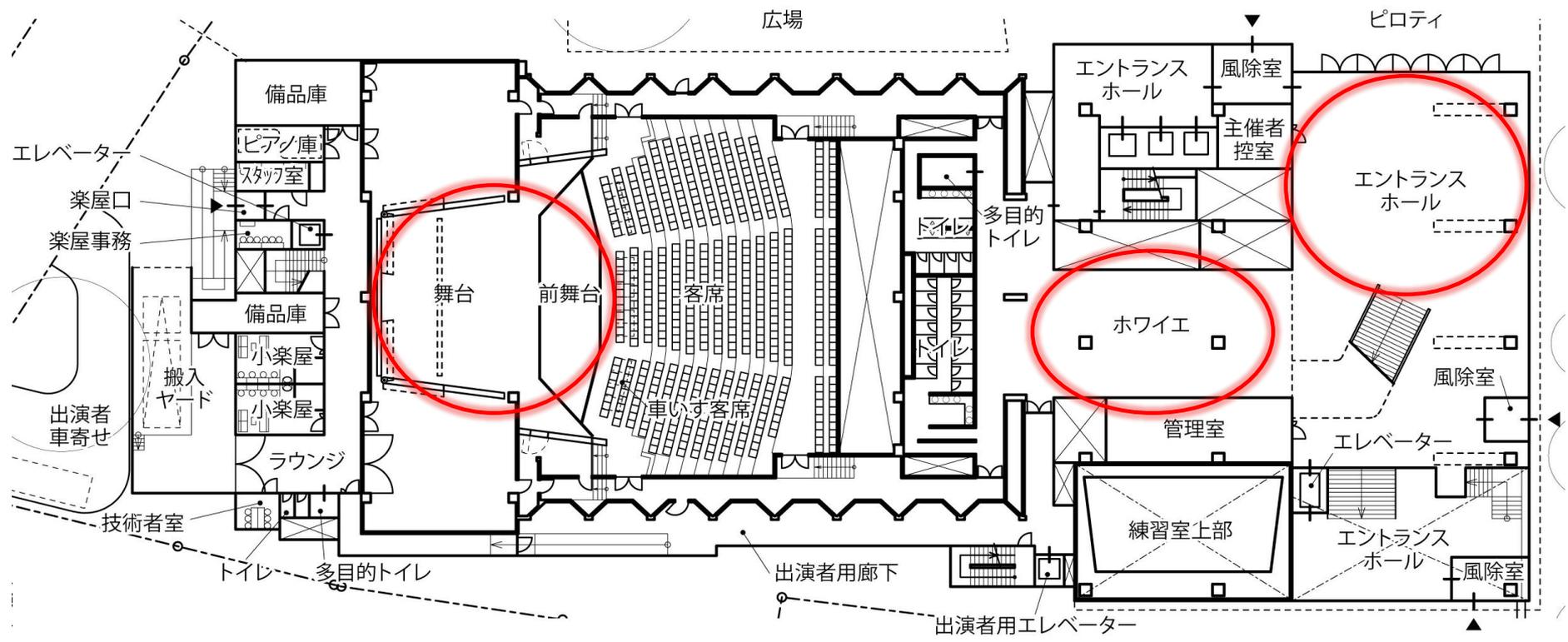
区民会館整備方針の策定



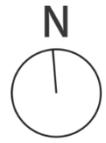
地下1階平面図



区民会館整備方針の策定



1階平面図



今後の予定について

年度	平成30年度(2018年度)												平成31年度(2019年度)		
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
工程	基本設計												実施設計		
区	基本設計方針案策定		基本設計方針策定		「基本設計案中間報告」及び「世田谷区民会館整備方針策定へ向けた区の考え方」策定				区民会館整備方針策定		基本設計案策定				
世田谷 リング会議	第1回 5/13				第2回 7/28				第3回 11/3		第4回 12/22		リング会議 (実施設計編)		
区民 説明会			6/3 基本設計方針案説明 (全体1回)				9/22~24 基本設計案中間報告 (5地域各1回)								

※基本設計(案)の区民説明会を開催予定

今後の予定について

これまでの世田谷リング会議について

世田谷リング会議（基本設計編）

○位置づけ

区から委託を受けた株式会社佐藤総合計画が各段階で設計のたたき台を示し、リング会議メンバーと設計プロセスを共有し、意見交換を行う。会議は、株式会社佐藤総合計画が運営する。

○目的

区で定めた基本構想等における設計要件が基本設計に反映されているかを確認いただき、さらにより良いものとするための意見交換を行う。



5月～12月の4回でみどりやリングテラス、新旧の建物の調和・空間特質の継承などの各視点について、確認、意見交換を行った。

今後の予定について

今後の世田谷リング会議について

世田谷リング会議（実施設計編）

○実施時期

実施設計段階（2019年度）で2回程度の開催を想定

○実施内容

1回目：世田谷リング会議（基本設計編）でいただいたご意見の中で、実施設計段階で確認する項目について、設計者の検討結果と意見交換を行います。



2回目：実施設計（案）の報告と意見交換を行います。

今後の予定について

今後の世田谷リング会議について

○世田谷リング会議（実施設計編）で意見交換する内容

<世田谷リング会議（基本設計編）でのご意見>

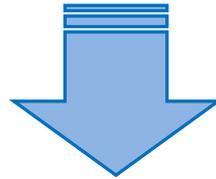
- ・ デッキの角は丸くすると柔らかい印象となる。
- ・ 区民会館を保存するのであれば、色など新旧建築物の調和に配慮してほしい。
- ・ 免震構造と既存建物の接合部がどのようになるのか示してほしい。

<実施設計段階での検討項目>

- ・ 外壁のデザイン、素材
- ・ リングテラスの手すりや広場の床の仕上げ等デザイン
- ・ 屋上緑化を含めた緑化の計画 など実施設計段階でのテーマ

今後の予定について

- 基本設計（案）区民説明会
- 世田谷リング会議（実施設計編）
- ワークショップ



開催日等につきまして、各委員へご案内します。

会議室の整備について

会議室の現状

○会議室の使用率：85.3%

⇒会議室が使用できる日時によって
仕事のペースが決まる

⇒集会室や地下食堂、休養室も利用している

⇒区議会委員会室も利用している
使用率：8割程度

使用上の課題

- 地下食堂や休養室は、会議室として使用できる時間に制限がある。
- 地下食堂での会議は、調理の騒音や臭い等がある。
- 休養室の一部は畳の部屋があり、長時間の会議や足の悪い人には不向きである。
- 参加者の人数に適していない広さの会議室であっても、やむなく使用している。

新庁舎における会議室

○必要な打合せの内容を把握（全庁調査）

○打合せの人数による、最適な規模の会議室数の算出

4人用	8人用	12人用	24人用	36人用	48人用	49人～用	合計
19室	23室	22室	7室	3室	1室	2室	77室

○スペース効率の工夫

- ①会議室の共用化
- ②会議室の集約配置

○区民利用

77室の内、リングテラスに面する4室については、閉庁時（夜間、休日）は区民が利用できる区民交流室とする。